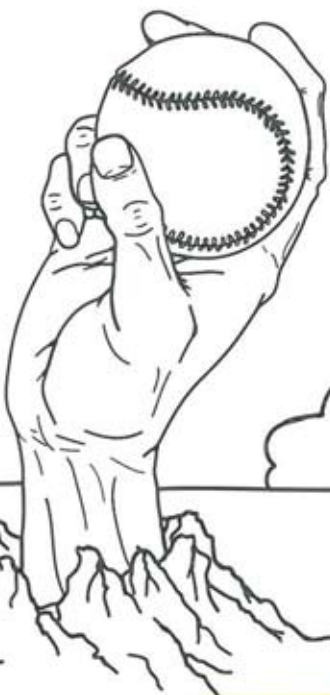


甲子園2連覇

焼け野原から立ち上がった球児・福嶋一雄



Oba Takeshi

大羽 武

芋やカボチャやコッペパンで、裸足を血で染めながら毎日500球を投げ込み、過酷な猛練習を積んで成し遂げた甲子園2連覇の偉業。その気品高い純真なプレーは、戦争の傷が癒えない人々を魅了し、勇気づけた。いま甦る「甲子園の土を最初に持ち帰った高校球児」の伝説。